

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		台東区民会館管理運営				所管	区民部	
							区民課	
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名			
	長期総合計画体系	[基本目標]					事業の開始・終了年度	
		[小柱]					[事業開始] 昭和 4 4 年度	
		[施策]					[終了予定] - 年度	
	根拠法令等	条例・規則		[法令等名]	台東区民会館条例、台東区民会館条例施行規則			
	事業対象	台東区内在住者、区内事業者及び団体、その他利用を希望する者						
	事業目的	区民等へ各会議室及び駐車場を貸し出すことにより、区民の文化及び福祉の向上並びに産業の振興を図る。						
	事業内容	①会議室【第1会議室～第5会議室、ホール、特別会議室(特・大・中・小和)】の管理運営 ②駐車場(観光バス12台、乗用車13台)の管理運営 ※改修工事(受変電・空調等の基幹設備の改修工事。都区管理協定により、設計・工事の契約は都が行なう。) 平成23・24年度…実施設計作成、 平成25・26年度…改修工事実施(25年度は各種設備の製作期間)、 平成27年度…運営再開						
委託の有無	一部委託		委託内容	建物管理(①.清掃及び駐車場管理、②.ごみ処理、③.夜間管理業務、④.害虫駆除)等				
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	会議室利用可能単位数 (単位)		—	12,894	12,642	12,642	
	成果指標	会議室利用率 %		53.0	50.2	50.7	51.0	
	決算額 (単位：千円)				98,149	95,889	91,203	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			21,602	16,244	17,999	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			33,603	34,442	32,987	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			64,546	61,447	58,216	
		総経費			119,751	112,133	109,202	
財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			98,149	104,858	95,840		
	その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0		
	一般財源 (区負担額)			21,602	7,275	13,362		
前年度から改善した事項		休館日を毎週月曜日から第2月曜日に変更し開館日数を増やした。 改修工事に伴い、会議室の利便性を高め(1室増、一部定員増により、会議室面積73.10㎡増、定員34名増)使用料を改定した。						
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	開設以来40年以上経過するが毎年一定の利用がある。当館は産業の振興も目的に設置され、各種展示会や技能講習会の利用は区内産業に役立っている。また、レストランを併設し料理等の飲食が会議室で可能なことは他の区民施設にない特色となっている。観光バス駐車場は観光施策上重要である。					
	効率性	3	都立産業貿易センター台東館と併設であり、共有部分の管理や維持工事を一体的に実施、費用を分担するほか、専有部分の清掃やごみ処理委託などを同業者に委託するなど効率化を図っている。					
	手段の適切性	3	夜間の時間帯を委託により運営し必要最小限の常勤職員と再任用等の非常勤職員で受付管理等運営している。					
	目的達成度	3	利用率は、24年度に0.5%増、25年度に0.3%増となっており、年々利用者に評価されてきている。また、指標の目標に対する達成度は96.2%であるのでおおむね達成されている。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性		
現在会議室等10室は区民や団体、企業が会議・集会・文化サークル活動・研修・講演会・大会総会などでの利用がある。区外企業等の利用も可能であるので多くの方が来区している。さらに展示会や技能講習会での利用もあり区内産業に役立っている。なお、飲食が可能な区施設として特色がある。観光バス駐車場の利用が多く観光客の受入に役立っている。						維持	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	